

備えあれば  
憂いなし

## 冬のおでかけ3ヶ条

### 1 スノータイヤ・チェーンの準備を

ノーマルタイヤは、雪道走行に適していないため、スリップする可能性があります。牧ノ戸峠までの坂は軽自動車2WDでは登れないことが多いので、スノータイヤを履くか、チェーンが必要です。

### 2 冬の安全登山！軽アイゼンの携行

冬の安全登山に必携アイテム。転倒や滑落を防ぐために、易しいコースや短い行程でもリュックに入れておきましょう。



4本爪・6本爪が一般的  
チェーンアイゼンでも◎

### 3 スマホ・カメラを冷やさない

電子機器は、寒さや連続撮影などの負荷がかかるとバッテリー性能がおち、最悪シャットダウンすることがあります。ウェアのポケットに入れてなるべく冷やさない、カイロなどでほどよく温めるなど対策が必要です。

お出かけ前に道路情報をチェック！

🔍 おおいた防災情報ポータル



山だけじゃない

## 足元に広がる雪の世界



山から少し目線をおとして、足元にも注目してみましょう。素敵な世界が広がっていますよ♪

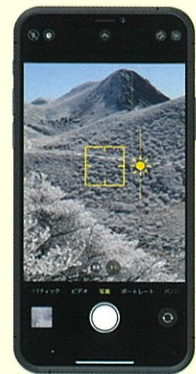
ん？思ったんとちがう…とならないための

## 撮影設定 & 写真補正

### ①撮影画面でAF・露出調整

カメラは「白色＝明るい・黒色＝暗い」と認識するため、画面の中にたくさん白色部分があると明るすぎると判断し、バランスを取ろうとして自動的に暗めに調整します。そのため、白が多く映る雪景色の写真はどうしても暗くなりがちです。メインとなる被写体が暗くなってしまう時は、スマートフォンのオートフォーカス・露出設定機能で調整するとイメージに近い写真に仕上がりますよ♪(機種により操作方法は異なります)

例えばiphoneなら



- ① 画面の被写体を長押ししてフォーカスを固定
- ② ☀️マークのコントロールを上にするるとフォーカス部分が明るく、下にするると暗くなります

### ②補正機能で納得のいく写真に

スマホの写真補正機能を使えばOK！ただ、取り返しのつかないほど白くなりすぎているときはどうしようもないのでご注意ください

- ☑️ 露出... レンズに取り込まれる光量を疑似的にコントロールし、自然な明暗を調整できる
- ☑️ 明るさ... 光量でなく、シンプルに画像を全体的に明るくする
- ☑️ ブリリアンス... 露出のように全体を明るくするのではなく、写真の暗い部分を明るくする
- ☑️ コントラスト... 明るい部分と暗い部分の差を調整し、陰影のあるメリハリのある画像に調整
- ☑️ シャープネス... 写真の輪郭が強調され、シャープさを与えるが、強くすると画像がざらつくので注意
- ☑️ 彩度... 全体の色に対して鮮やかさを調整

📱フォトライブラリの編集画面から操作



空のグレーに引きずられて全体的に暗い印象

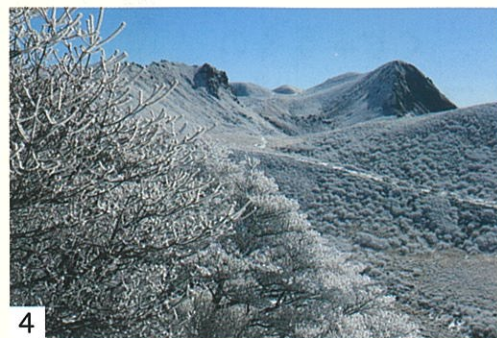
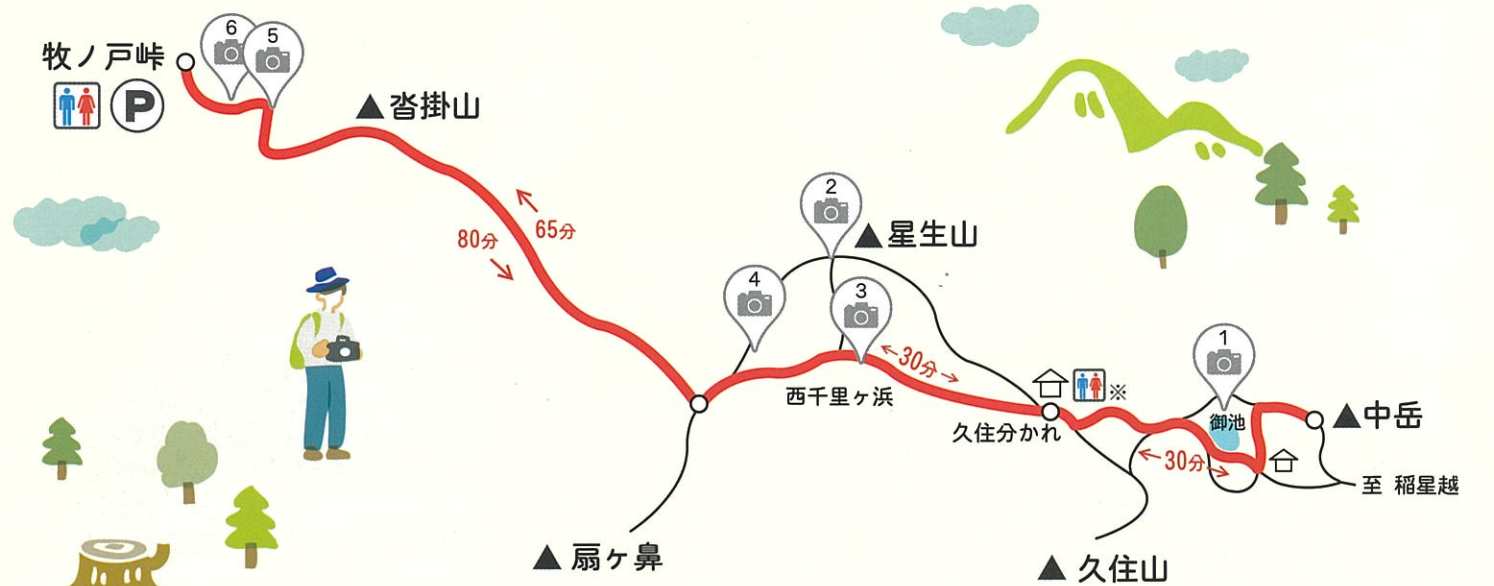
- 露出 +35
- ブリリアンス +15
- コントラスト -20
- 明るさ +15
- 彩度 +50
- 暖かみ -50 (色味の調整)



全体的に明るくし、色味を調整することで澄んだ空気感を再現



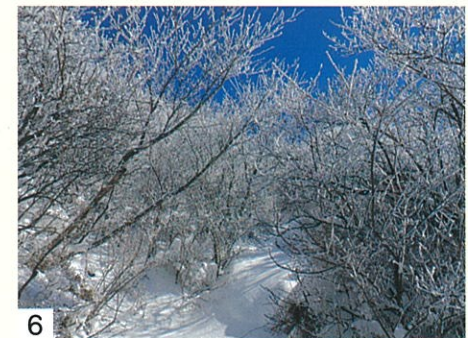
(1) 訪れるたび違う顔を見せてくれる凍った御池。晴れた日は青空が映えるアングルがおすすめ。池の上を歩けるのも魅力だが、解氷して落下しないように注意して歩こう。(2) 星生山山頂から北東を眺めると硫黄山の噴煙が目に入る。くじゅうの大自然を象徴するダイナミックな風景。(3) 西千里ヶ浜を進み、肥前ヶ城を過ぎると雄大な久住山が構えている。ここからの写真はテッパンなので押さえておきたい。



星生山への分岐を登り、振り返ると樹氷越しの久住山が。重なる山なみがアクセントになる構図で撮れる。



牧ノ戸峠の登山口をスタートして10分、東屋から見上げる沓掛山を撮る。山肌の樹氷が美しい。



牧ノ戸峠の登山口をスタートすると、霧氷のトンネルが迎えてくれる。石の階段が続くので、積雪時はアイゼンがあると安心。

※久住分かれトイレ...冬季閉鎖(12月~4月上旬) 携帯トイレブース利用可

撮って楽しむくじゅうの冬

牧ノ戸峠〜中岳ルート

はじめは色々な調整機能を試してみると、それぞれの特徴が掴みやすくなりますよ！※極端な調整は人工的になるので、やりすぎにはご注意ください